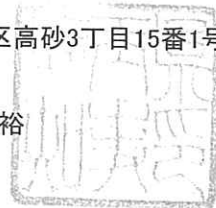


(様式第11)

令和元年10月7日

さいたま市長様

申請者 住所 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
氏名 埼玉県
埼玉県知事 大野 元裕



埼玉県立小児医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
氏名	埼玉県

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

埼玉県立小児医療センター

3 所在の場所

〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2	電話 (048) 601 - 2200
---------------------------------	---------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
— 床	— 床	— 床	— 床	316 床	316 床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置、心除細動除去装置、呼吸心拍監視装置、心電計、電解質定量検査装置、血液ガス分析装置、ポータブルエックス線装置、 病床数 64 床 ※PICU 14床、NICU30床、HCU20床 計64床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、血液ガス分析装置、血中アンモニア測定装置、グリコヘモグロビン分析装置、自動浸透圧分析装置、アレルギー測定装置、自動免疫測定装置、アミノ酸分析装置
細菌検査室	(主な設備) 感受性同定装置(マイクロスキャンウオークアウェイ)、血液培養装置(バクテアラート)、リアルタイムPCR、嫌気培養ボックス
病理検査室	(主な設備) 電子顕微鏡及び標本作成機器一式、病理蛍光顕微鏡、顕微鏡、ミクロトーム、凍結切片作成装置、自動染色装置、遠心機、自動免疫染色装置、ディープフリーザー、パラフィン溶融器、パラフィン伸展器
病理解剖室	(主な設備) 病理解剖設備一式、遺体安置冷蔵庫、ディープフリーザー
研究室	(主な設備) 遺伝子解析装置、細胞分離装置、マイクロアレイ、リアルタイムPCR、次世代シーケンサー、シーケンサー、染色体解析装置
講義室	室数 1 室 収容定員 150 人 (兼 研修室) パーティションにより 2室での使用可
図書室	室数 1 室 蔵書数 26,000 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 3 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 58.2 m ² [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	88.8 %	算定期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
地域医療支援病院逆紹介率	43.6 %		
算出根拠	A : 紹介患者の数	8,880 人	
	B : 初診患者の数	9,991 人	
	C : 逆紹介患者の数	4,365 人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

別紙1参照

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	4 床
専用病床	4 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急室	479.8 m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、呼吸心拍監視装置、心除細動除去装置	可
放射線技術部	757.9 m ²	(主な設備) CT、MRI、一般撮影装置、超音波診断装置、血管撮影装置	可
検査技術部	608.2 m ²	(主な設備) 生化学自動分析装置、血液ガス分析装置、感染症分析装置、血算測定、凝固測定	可
集中治療室 (新生児含む)	3,477.5 m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、呼吸心拍監視装置、心除細動除去装置	可
ハイケアユニット	1,304.1 m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、呼吸心拍監視装置、心除細動除去装置	可

4 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・救急病院(指定日 平成28年12月27日付) ・小児救命救急センター(指定日 平成29年1月1日付)
--

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,352 人 (905 人)
上記以外の救急患者の数	2,694 人 (820 人)
合計	5,046 人 (1,725 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	3 台
---------------	-----

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
2	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
3	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
4	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
5	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
6	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
7	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
8	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
9	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
10	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
11	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
12	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
13	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
14	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
15	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
16	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
17	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
18	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
19	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
20	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
21	医師		常勤 (専従) (非常勤) 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
22	医師		常勤 (専従) (非常勤) 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
23	医師		常勤 (専従) (非常勤) 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
24	医師		常勤 (専従) (非常勤) 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
25	医師		常勤 (専従) (非常勤) 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
26	医師		常勤 (専従) (非常勤) 非専従	7.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
27	医師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
28	医師		常勤 (専従) (非常勤) 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
1	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
2	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
3	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
4	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
5	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
6	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
7	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
8	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
9	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
10	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
11	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
12	看護師		(常勤) (専従) 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
13	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
14	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
15	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
16	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
21	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
22	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
23	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
24	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
25	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
26	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
27	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
28	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
29	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
30	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
31	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
32	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
33	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
34	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
35	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
36	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
37	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	32.00時間/週	PICU
38	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
39	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
40	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
41	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
42	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
43	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
44	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
45	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
46	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
47	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
48	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
49	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
50	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
51	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
52	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
53	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
54	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
55	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
56	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
57	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
58	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
59	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
60	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
61	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
62	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
63	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
64	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
65	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
66	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
67	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
68	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
69	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
70	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
71	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
72	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備考
73	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
74	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
75	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
76	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
77	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
78	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
79	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
80	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
81	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
82	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
83	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
84	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
85	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
86	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
87	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
88	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
89	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
90	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
91	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
92	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
93	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
94	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
95	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
96	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
97	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
98	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
99	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
100	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
101	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
102	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
103	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
104	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
105	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
106	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
107	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
1	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
6	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
18	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
19	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
20	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
21	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	
1	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
5	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
18	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
19	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
20	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
21	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
22	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
23	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
24	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
25	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
26	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.35時間/週	
1	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
18	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
19	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
20	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
21	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
22	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
23	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
24	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
25	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
26	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
27	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
28	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
29	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
30	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
31	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
32	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
33	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
34	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
35	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
36	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
37	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
38	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	

重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
39	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
40	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	
41	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	
42	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	18.75時間/週	
43	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	17.75時間/週	
44	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	18.00時間/週	

(様式第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

なし

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

共同利用病床、手術室、高度診断機器、病理解剖(受託)

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：業務部長
職 種：事務

(注) 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙2参照				

(注) 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6 床
--------------	-----

埼玉県立小児医療センター地域医療連携推進事業運営規程

(目 的)

第1条 地域医療連携推進事業（以下「連携事業」という。）とは、埼玉県立小児医療センター（以下「センター」という。）と地域医療機関とが機能分担するとともに、より緊密に連携協調し、センターが「かかりつけ医」機能の支援を行うことにより、地域医療の向上に貢献することを目的とする。

(概 要)

第2条 センターの連携事業の内容は、次に掲げるものとする。

- (1) 紹介患者に対する医療の提供
- (2) 救急医療の提供
- (3) 地域医療従事者に対する研修の実施
- (4) 共同利用の実施
 - ア 入院診療への参加
 - イ 手術への参加
 - ウ 診断機器の利用
 - エ 病理解剖の受託

(登録医療機関)

第3条 入院診療及び手術に参加する県内医療機関は、センターに登録し、「登録医療機関」となるものとする。

2 登録医療機関の医師（以下「登録医」という。）は、センター組織には属さず、病院職員に対する直接の指示権限は有さないものとする。

3 登録医の登録年限は2年とする。ただし、登録医とセンターの双方に異存がない場合は自動的に延長されるものとする。

(紹介患者に対する医療提供)

第4条 センターは、医師からの紹介患者の診療を行うものとする。

2 紹介は診療情報提供書に基づき行うこととするが、緊急の場合には電話紹介によることもできることとする。

3 センターでの診療で病状が軽快した者及び治療方針が確定した者等については、紹介医療機関又は地域の医療機関へ逆紹介するものとする。

(救急医療の提供)

第5条 センターは、24時間体制で医師からの紹介に基づく二次ないし三次救急（重症患者）を行うものとする。

2 センターは、24時間体制により医師からの依頼に基づく分娩立会いによる新生児搬送を行うものとする。

(地域の医療従事者に対する研修の実施)

第6条 センターは、一定のプログラムのもとに地域の医療従事者を対象に症例検討会等各種研修会を行うものとする。

2 地域の医療従事者は、センターの図書室管理規程に従って、図書を閲覧することができる。

3 センターは、個別の研修の受入れを行うものとする。

(入院診療への参加、手術への参加)

第7条 登録医の利用する病床(共同利用病床)は、6床とする。

2 共同利用病床への入院は、他の入院と同様にセンターの所定の手続のもとに行い、入院患者はセンターの担当医の責任で診療するものとする。

3 登録医は、担当医への事前連絡のもと、担当医とともに患者の診療、診療方針の協議を行うものとする。

4 登録医は、担当医とともに手術に参加することができる。

(登録医の留意事項)

第8条 登録医は、次に掲げる事項を遵守するものとする。

(1) 登録医が患者に必要な投薬、検査、処置等の診療行為を指示するときは、担当医を介して行うものとする。

(2) 患者家族への説明は、担当医と協議の上、行うものとする。

(3) 登録医が来院するときは、担当医に連絡するものとする。

(4) センターの慣行、取決め等に従うものとする。

(高度診断機器の利用)

第9条 高度診断機器の利用担当外来を設置するものとする。

2 外来受診は、紹介、予約制とする。

(病理解剖の受託)

第10条 外部から依頼された病理解剖をセンターの取扱規程に基づいて行うことができるものとする。

(地域医療連携室)

第11条 本事業の円滑な運営のため、地域医療連携室(以下「連携室」という。)をセンター内に設置する。

2 連携室は、登録医からのセンター施設利用の要請及び来院時の対応、センターの担当医師との連絡調整を主たる業務とする。

3 連携室の責任者は、センターの外来担当副病院長とする。

(検討委員会)

第12条 連携事業の実施に当たり運営の円滑化及び諸問題を協議するために、検討委員会を設ける。

(規程の改正)

第13条 本規程は、検討委員会で協議の上、改正することができる。

附 則

この規程は、平成10年10月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年 3月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年 1月 1日から施行する。

登録医療機関の名簿

1. 当センターと同一の2次医療圏に所在する医療機関

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	経営上の関係
木崎診療所		さいたま市浦和区木崎1-2-11	内科、整形外科	なし
山口クリニック		さいたま市南区南浦和2-44-9	呼吸器科	なし
西大宮病院		さいたま市大宮区三橋1-1173	内科、外科	なし
河野外科胃腸科		さいたま市大宮区三橋1-891-2	内科、外科	なし
村井クリニック		さいたま市見沼区東大宮5-27-6	内科、整形外科	なし
七里産婦人科医院		さいたま市見沼区風渡野271	産婦人科	なし
指扇病院		さいたま市西区宝来1295-1	内科、外科	なし
田中ファミリークリニック		さいたま市岩槻区鹿室987-1	整形外科	なし

(様式第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">別紙3参照</div>

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	49 回
(2) (1) の合計研修者数	2,191 (内当センター職員 288) 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 ・ 無
- イ 研修委員会設置の有無 有 ・ 無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験年数	特 記 事 項
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂1	134.0 m ²	(主な設備) 机、椅子、パソコン、プロジェクター、音響設備 ※講堂1、2は、可動パーティションにより 仕切られており、2室併せた使用が可能。
講堂2	111.8 m ²	
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績（平成30年度）

1. 埼玉小児疾患集談会

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成30年6月7日 場所：小児医療センター講堂	第135回埼玉小児疾患集談会 ①症例検討 救急診療科医師 「急性～突発発症の小児片麻痺症例について」 ②症例検討 感染免疫科医師 「発熱・右肩痛を主訴に来院した男児例」 ③基礎講座 血液・腫瘍科医師 「小児突発性（免疫性）血小板減少性紫斑病」	70人 (院外13人) (院内57人)
平成30年9月13日 場所：小児医療センター講堂	第136回埼玉小児疾患集談会 ①症例検討 新生児科医師 「点状出血・紫斑を主訴に入院となった新生児の1例」 ②症例検討 精神科医師 「多動を主訴に来院した幼児例」 ③基礎講座 遺伝科医師 「小児科診療における遺伝学的検査とその変遷」	73人 (院外22人) (院内51人)
平成30年11月29日 場所：小児医療センター講堂	第137回埼玉小児疾患集談会 ①症例検討 腎臓科医師 「腎機能障害が進行した原因不明の精神運動発達遅滞を合併する2歳男児」 ②症例検討 循環器科医師 「胎児期に右心系の拡大を指摘された1例」 ③基礎講座 小児歯科医師 「外傷による歯牙への影響」	50人 (院外15人) (院内35人)
平成31年3月7日 場所：小児医療センター講堂	第138回埼玉小児疾患集談会 ①基礎講座 循環器科医師 「心臓検診について～管理が必要な不整脈」 ②特別講演 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 講師 「医療安全セミナー」	62人 (院外23人) (院内39人)

2. 唇顎口蓋裂セミナー

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成30年10月1日 場所：小児医療センター講堂	第9回埼玉県立小児医療センター 唇顎口蓋裂セミナー ①症例検討 演者：形成外科医師	38人 (院外26人) (院内12人)
平成31年2月27日 場所：小児医療センター講堂	第10回埼玉県立小児医療センター 唇顎口蓋裂セミナー 講演：「小児の口腔機能不全症」 演者：小児歯科医師	36人 (院外26人) (院内10人)

3. 地域連携懇談会

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成31年3月15日 場所：地域医療教育センター 小児医療センター講堂	第5回地域連携懇談会 「地域に開かれた小児専門病院をめざして」 講師：神奈川県立こども医療センター医師	87人 (院外62人) (院内25人) (医師、看護師、 ソーシャルワーカー、事務 職員)

4. 小児在宅看護研修会

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成30年9月15日 場所：小児医療センター	第18回埼玉県立小児医療センター小児在宅看護研修会 テーマ「小児がん患児の在宅ケアについて」 講演：「当センターで使用する在宅医療機器の基礎知識について」 講師：臨床工学技士	84人 (院外83人) (院内1人) (訪問看護ステーション 66名 ・特別支援学校 8名 ・2次医療機関 9名)

5. 児童虐待研修会（埼玉県虐待対応医療ネットワーク）

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成30年8月30日 場所：小児医療センター講堂	平成30年度 第1回埼玉県児童虐待対応 医療ネットワーク研修 「子ども虐待事例を通して造るネットワーク」 事例検討会 講師：さいたま子どもの心クリニック医師 岡田こどもの森クリニック医師	69人 院外：62人 院内：7人 (医師、看護師、 ソーシャルワーカー)
平成30年11月22日 場所：小児医療センター講堂	平成30年度 第2回埼玉県児童虐待対応 医療ネットワーク研修 「子ども虐待事例を通して造るネットワーク」 事例検討会 講師：さいたま子どもの心クリニック医師 岡田こどもの森クリニック医師	72人 院外：67人 院内：5人 (医師、看護師、 ソーシャルワーカー)
平成31年3月1日 場所：小児医療センター講堂	平成30年度 第3回埼玉県児童虐待対応 医療ネットワーク研修 「他県における児童虐待対応医療ネットワーク事業の 取り組み」 講師：国保旭中央病院医師	106人 院外：83人 院内：23人 (医師、看護師、 ソーシャルワーカー)

6. 小児がん看護専門研修

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成31年2月24日 場所：小児医療センター	埼玉県立小児医療センター平成30年度小児がん看護専門研修 「AYA世代のがん患者への支援①～臨床心理士の立場から～」 講師：当センター 臨床心理士	51人 院外：30人 院内：20人 (看護師)

7. 代謝・内分泌科の講習・研修会

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成30年7月11日 場所：AZ GRACE 狭山市	狭山市・入間地区医師会学術講演会 特別講演：低身長 <small>の</small> 診断と治療 演者：代謝・内分泌科医師	30人 (医師)
平成30年11月6日 場所：熊谷市母子保健センター	熊谷市子ども健康センター 講演：子どもの低身長 <small>の</small> 診断と治療 講師：代謝・内分泌科医師	30人 (保健師)

8. 保健発達部門の講習・研修会

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成30年5月20日 場所：大宮ふれあいセンター	さいたま市要約筆記者養成講習会特別講演 「耳のしくみ～聴覚障害に関する基礎知識～」 講師：当センター 言語聴覚士	教員、保育士他 40人
平成30年5月29日 場所：埼玉県立蓮田特別 支援学校	埼玉県立蓮田特別支援学校 職員研修 「プール活動を楽しく」 講師：当センター 理学療法士	教員 47人
平成30年6月17日 場所：日本医療科学大学	埼玉県作業療法学会 シンポジウム 「子供の生活を軸とした作業療法 “つなぐ” ために臨床で 大切なこと」 講師：当センター 作業療法士	作業療法士 20人
平成30年6月14日 17日 24日 場所：大宮ふれあいセンター	さいたま市手話奉仕員養成講習会(入門コース)合同講義 「聴覚障害者のコミュニケーション」 講師：当センター 言語聴覚士	教員、保育士他 40人
平成30年6月30日 場所：万平ホテル(軽井沢)	埼玉県特別支援教育研究会 難聴・言語障害研究部会 彩の会 「器質的構音障害の基礎知識」 講師：当センター 言語聴覚士	教員 40人
平成30年7月6日 場所：越谷市障害者福祉 センター	越谷市要約筆記者養成講習会特別講演 「耳のしくみ～聴覚障害に関する基礎知識～」 講師：当センター 言語聴覚士	教員、保育士他 40人
平成30年7月28日 29日 場所：埼玉会館	埼玉県作業療法士会 「小児を専門としていない作業療法士のための研修会(初級)」 講師：当センター 作業療法士	作業療法士 20人
平成30年8月28日 場所：埼玉県立越谷特別 支援学校	埼玉県立越谷特別支援学校 職員研修 「食べるということを確認する」 講師：当センター 理学療法士	教員 100人
平成30年8月30日 場所：府中療育センター	小児療育勉強会 「選択的脊髄後根切断術 理学療法の関わり」 講師：当センター 理学療法士	理学療法士 20人

平成30年9月4日 場所：埼玉県発達障害総合支援センター	発達支援サポーター育成研修 「発達障害児のための感覚運動遊び支援 実践研修」 講師：当センター 作業療法士	保育士 35人
平成30年9月13日 場所：埼玉県発達障害総合支援センター	埼玉県地域連携講座 「発達障害児に対する作業療法」 講師：当センター 作業療法士	保育士 120人
平成30年10月13日 場所：埼玉会館	埼玉県作業療法士会 「小児を専門としたい作業療法士のための研修会（中級）～事例検討編～」 講師：当センター 作業療法士	作業療法士 20人
平成30年10月23日 場所：埼玉県発達障害総合支援センター	発達障害支援専門研修 「発達障害児のための感覚運動遊び支援 実践研修」 講師：当センター 作業療法士	保育士、支援事業所職員等 35人
平成30年10月30日 場所：埼玉県地域医療教育センター	埼玉県特別支援教育研究会 難聴・言語障害研究部会 研修会 「器質的構音障害の基礎知識」「聞く話すの問題について」 講師：当センター 言語聴覚士	教員 120人
平成30年10月30日 場所：埼玉県立宮代特別支援学校 自立活動部研修会 特別支援学校	埼玉県立宮代特別支援学校 自立活動部研修会 「手指操作性向上のための具体的な取り組み」 講師：当センター 作業療法士	教員 25人
平成30年11月18日 場所：貸会議室24大宮	療育関係者研修会 「装具de so good」 講師：当センター 理学療法士	保育士、教員、理学療法士 40人
平成30年11月18日 場所：至誠堂整形外科病院	至誠堂整形外科病院研修会 「小児理学療法の展開」子どもから学んだこと 講師：当センター 理学療法士	至誠堂整形外科病院リハビリテーションスタッフ 35人
平成30年11月23日 24日 場所：埼玉県発達障害総合支援センター	埼玉県作業療法士会 「小児を専門としている作業療法士のための研修会（上級）～セラピスト養成講座～」 講師：当センター 作業療法士	作業療法士9人
平成31年1月27日 場所：埼玉県発達障害総合支援センター	発達障害支援に係る専門職合同研修 「読み書き障害児に対するICT支援」 講師：当センター 言語聴覚士、理学療法士	県内在住・在勤 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士 113人

9. BLS講習会

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成30年4月8日 場所：小児医療センター講堂	BLS講習	10人 (医師、看護師、助産師)
平成30年5月27日 場所：小児医療センター講堂	BLS講習	10人 (医師、看護師、助産師)
平成30年6月10日 場所：小児医療センター講堂	BLS講習	8人 (医師、看護師、助産師)
平成30年7月28日 場所：地域医療教育センター	BLS講習	5人 (医師、看護師、助産師)
平成30年8月25日 場所：地域医療教育センター	BLS講習	7人 (医師、看護師、助産師)
平成30年9月22日 場所：地域医療教育センター	BLS講習	7人 (医師、看護師、助産師)
平成30年10月27日 場所：地域医療教育センター	BLS講習	8人 (医師、看護師、助産師)

10. その他の講習・研修会

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成30年5月22日 場所：埼玉県立けやき特別支援学校	平成30年度 中学部職業講話 「チャイルド・ライフ・スペシャリストについて」 講師：チャイルド・ライフ・スペシャリスト	13人 (中学部生徒、小学部生徒、保護者、教諭)
平成30年7月1日 場所：東京家政大学	第6回日本子ども療養支援研究会 ～こどものちからを感じよう～ シンポジウム「子どもの力が発揮された事例から学ぶ」 「骨髄移植を受ける患児への心理社会的支援と多職種連携」 シンポジスト：チャイルド・ライフ・スペシャリスト	80人 (医師、看護師、保育士、子ども療養支援士、その他コメディカル)

<p>平成30年8月5日 場所：小児医療センター講堂</p>	<p>第5回 埼玉県立小児医療センターセミナー2018 教育講座1：なるほど！日常診療でのスキルアップ 講義1：伝授！小児感染症を楽しむための学び方 講師：感染免疫・アレルギー科医師 講義2：明日から実践 子どもの眼のみかた 講師：眼科医師 講義3：小児科医必見！胎児でもこんなにわかる先天性疾患 講師：循環器科医師 教育講演2：すごいね！日常診療でのスキルアップ 講義4：子どもの事故再発を防ぐために 講師：小児救急看護認定看護師 講義5：子どもの消化器病診療 講師：消化器・肝臓科医師 講義6：Rapid response systemと危険予知 講師：集中治療科医師</p>	<p>院外23人 (医師)</p>
<p>平成30年8月18日 場所：埼玉県県民健康センター</p>	<p>公益社団法人埼玉県医療社会事業協会新人研修会 「Medical Social Work in Saitama 10年後の自分に」 講師：ソーシャルワーカー</p>	<p>院外34人 院内 3人 (ソーシャルワーカー)</p>
<p>平成30年10月28日 場所：ソフィアホール自由が丘</p>	<p>NPO法人Being ALIVE JAPAN ボランティア養成セミナー 「小児医療の現場で働くチャイルドライフスペシャリストが伝える長期療養を必要とする子どもの心理社会的支援」 講師：チャイルド・ライフ・スペシャリスト</p>	<p>7人 (ボランティア)</p>
<p>平成30年11月10日 場所：御影 母の家ベテル</p>	<p>こどもホスピス応援団主催 講演会&チャリティーコンサート 講演「こどもの世界 ～チャイルドライフスペシャリストの視点から～」 講師：チャイルド・ライフ・スペシャリスト</p>	<p>50人 (医師、看護師、 チャプレン、 子どもを亡くされた御遺族他)</p>
<p>平成30年12月1日 場所：大宮ソニックシティー 603号</p>	<p>埼玉県小児保健協会 第89回研究会 「子どもの慢性疾患のup to date：てんかんと食物アレルギー」 講演1：てんかんとは？ 講演2：治るてんかんと治らないてんかん 演者：小児医療センター 神経科医師 講演3：食物アレルギーとは 講演4：食物アレルギーの診断と治療、そして予防 演者：東京慈恵会医科大学第三病院 小児科医師 さいたま市立病院 小児科医師</p>	<p>70人 (医師、保健師、 助産師、看護師)</p>
<p>平成30年12月2日 場所：北沢タウンホール</p>	<p>NPO法人Being ALIVE JAPAN ボランティア養成セミナー 「小児医療の現場で働くチャイルド・ライフ・スペシャリストが伝える長期療養を必要とする子どもの心理社会的支援」 講師：チャイルド・ライフ・スペシャリスト</p>	<p>6人 (ボランティア)</p>

<p>平成31年1月26日 場所：埼玉会館 7B会議室</p>	<p>埼玉県小児保健協会 平成30年度小児保健セミナー 「こどもを事故から守る！医療現場から地域へのメッセージ」 内容：救急医から地域の関係者に期待すること 講師：埼玉県立小児医療センター 救急診療科医師 講師：小児救急看護認定看護師</p>	<p>74人 (縣市町村職員、 関係機関職員)</p>
-------------------------------------	---	-------------------------------------

研修指導者名簿

(平成30年度)

氏名	職種	所属	職名	臨床年数	特記事項
	医師		副病院長	37	責任者
	理学療法士	保健発達部	副部長	34	
	診療放射線技師	放射線技術部	部長	38	
	臨床検査技師	検査技術部	部長	37	
	薬剤師	薬剤部	部長	33	
	栄養士	栄養部	部長	35	
	臨床工学技士	臨床工学部	副技師長	27	
	看護師	看護部	部長	37	

(様式第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	事務局長
管理担当者氏名	業務部長

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		・総務担当 ・看護部 ・薬剤部 ・医事担当 ・病歴室	・月別、年度別 ・日別、月別、年度別 ・患者番号
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携・相談支援センター	月別、年度別
	救急医療の提供の実績	医事担当	日別、月別、年度別
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務担当	月別、年度別
	閲覧実績	医事担当	月別、年度別
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携・相談支援センター	日別、月別、年度別

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	病院長
閲覧担当者氏名	業務部長
閲覧の求めに応じる場所	病歴室
閲覧の手続の概要	
<p>・閲覧の諸手続きに則り、申請を受けたものについて、条例もしくは要綱に基づき適正に閲覧を認める。 なお、閲覧には当センターの職員が立ち会うものとする。</p>	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

(様式第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回	
----------	-----	--

委員会における議論の概要

開催日時・場所

平成30年9月10日(月) 14:00~15:30

6階講堂

1. 委員及び当センター幹部の紹介を行った。
2. 協議・報告事項
 - (1) 運営状況
当センターの運営状況について報告があった。
 - (2) 診療状況
 - (ア) 紹介の概要、外来・入院の概要
 - (イ) 内科系の各診療科の外来・入院の概要
 - (ウ) 外科系の各診療科の外来・入院の概要
 - (エ) 救急・集中診療部門の外来・入院の概要
 - (オ) 保健発達部門の概要
 - (カ) 地域医療支援病院の概要
 - (3) 当センターの現状と今後について
 - (4) 意見交換

※この委員会の他、「埼玉県立小児医療センター診療連絡委員会要領」に基づき、開催された小児疾患集談会の席において、地域の医療機関と意見交換、情報共有を行った。

(平成30年度は4回開催)

(様式第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他(病棟等)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	職種: ソーシャルワーカー
患者相談件数	12,028 件

患者相談の概要

平成30年度実績

【患者相談の主な内容】

- 1 医療費相談: 健康保険・公費負担制度の活用援助、医療費支払いに関する相談
- 2 福祉相談: 各種手帳・年金・手当・補装具・治療材料等各種制度活用援助
- 3 療養相談: 受診援助・入院援助・療養上の問題調整
- 4 生活問題: 家族問題調整・就労問題調整・住宅問題調整・日常生活援助
- 5 療育相談: 療育援助・療育機関紹介(通所訓練施設・入所施設)
- 6 教育相談: 障害児保育・就園・就学・特別支援教育相談
- 7 退院相談: 退院に関する援助全般
- 8 虐待相談: 乳幼児虐待(不適切養育全般)に関する相談・対応、関係機関との連絡調整
- 9 精神関連: 患者・家族の精神科領域に関する相談援助
- 10 心理的相談: 患者・家族の主として心理的な支援に関する事
- 11 成人期医療機関移行・生活相談: 成人期に伴う医療機関移行及び生活相談

【講じた対策】

- 1 院内虐待対応チームの早期介入により、子ども虐待の予防に努めた。
- 2 外国人通訳ボランティア、通訳タブレットの導入により、外国人患者への適切な対応に努めた。
- 3 職員の「患者支援」、「患者との円滑なコミュニケーション」の意識付けを図るため、患者サポートチームを設置し、定例会(週1回)を開催した。
- 4 小児がん拠点病院として小児がん相談支援センターの専用の相談窓口について案内した。
- 5 退院支援地域連携チームを立ち上げ、病棟からの円滑な退院と地域関係機関との連携に努めた。

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないように配慮すること。

(様式第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>・機関名：日本医療機能評価機構 ・受審日：平成31年2月6日、7日 ・有効期間：2019年5月10日～2024年5月9日 ・一般病院2（3rdG ver. 2. 0）</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>・各研究会、研修会の案内 → 郵送、電子メール ・各月の診療スケジュール → 郵送、ホームページ ・小児医療センターだより → 郵送</p>	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<p>・退院調整部門の概要</p> <p>・在宅支援相談室の看護師および地域連携・相談支援センターのソーシャルワーカーが、各病棟と連携している。また、患者家族と面談、地域の医療機関や施設とのカンファレンスを経た退院調整を行っている。</p>	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
<p>・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</p> <p>・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</p> <p>・小児患者の特性と疾患の特性を十分に考慮し、他の医療機関との連携による治療が可能と思われる症例について、地域連携パスの作成を検討していく。</p>	